







(明治後期の山王祭、若月紫蘭『東京年中行事』明治44年)



明治17年(1884)の神田祭 スウェーデン国立民族博物館所蔵





(PR TIMESサイトより)



(豊島区千早二丁目町会 太鼓山車 千早二丁目町会サイトより)



(昭和58年 千代田区小川町三丁目西町会 太鼓山車 小川町三丁目西町会サイトより)



(千代田区神田旅籠町会の太鼓山車と町会関係の子供たち 祭旅人サイトより)



(東郷元帥山車と番町の子供たち 麹町界隈わがまち情報館サイトより)

[illegible]

千代田区では今月一日から江戸築城五百年祭を行なっているが十六

千代田区図書館で江戸資料展

日から十九日までは区図書館四階で江戸資料展がひらかれている。約三百点が宮内庁をはじめ各方面から出品され国宝級の品物も数多いので同区では万一のことがあるてはと不審審までつける用心ぶりだが、なかでも人眼を集めているのは須田町中部町会出品の旧連雀町当時から伝わる山車人形「鷹坂」。これは明和二年（約二百年前）倉橋幡屋大縁つくるころの高さ五尺木彫で目と首が手で動くようになつており往時慶事に当り行われた能「鷹坂」の面をもとにしたもので神田祭の花形役で幸い戦災を免れ保存されているもの。

また家庭用品を利用した広さ一



昭和31年(1956) 千代田区主催の江戸築城500年祭
千代田図書館で江戸資料展 山車人形熊坂展示

昭和21年(1946)の神輿担ぎ『神田復興祭記念写真帖』





CHIYODA CITY

広報

千代田

特集

平成15年 9/30
(2003年)
(毎月5日・20日に発行)

代表電話
☎3264-2111

発行/千代田区 編集/政策経営部広報広聴課 〒102-8688 千代田区九段南1-6-11 URL <http://www.city.chiyoda.tokyo.jp>

江戸開府400年 記念事業

400th ANNIVERSARY OF THE EDO SHOGUNATE



▲東洋文庫名品展より
喜多川歌麿「金魚遊び」

徳川家康が江戸に幕府を開いて、今年で400年を迎えました。区では、これを記念して、さまざまなイベントを開催しています。



▲山車・みこし順行イメージ

江戸時代の天下祭が復活します。江戸時代、お祭り・神事・手廻り・手廻り・高張り・提灯などが先導し、区内のはるか青柳町・大須賀町・麹町・豊島町・川越町の山車9台に8連合町会のみこしなるみこしののり、大名行列や流し・廻りなどの付勢が加わり、約2回を練り歩きます。

とき 11月24日(土) 正午～午後4時(予定)

コース 日比谷公園～丸の内

江戸天下祭

11月22日(土)～24日(休) 日比谷公園ほか

山車・みこし順行

江戸時代の天下祭が復活します。江戸時代、お祭り・神事・手廻り・高張り・提灯などが先導し、区内のはるか青柳町・大須賀町・麹町・豊島町・川越町の山車9台に8連合町会のみこしなるみこしののり、大名行列や流し・廻りなどの付勢が加わり、約2回を練り歩きます。

とき 11月24日(土) 正午～午後4時(予定)

コース 日比谷公園～丸の内

江戸フェスティバル

各所で江戸文化を体験できます。

とき 11月22日(土)・24日(休) 午前10時～午後5時(24日は午後4時まで)

会場 日比谷公園

江戸登城ウォーク

江戸時代、各藩の下屋敷があった場所から、中庭・上屋敷を経て、戸城の中へ入る屋敷を巡り、日比谷公園を目指してウォークイベントです。

スタート地点からゴールまで

全国街道交流会議

NHK「のどろ」の歴史は動いた。おととしの鳥平定知アナウンサーが案内人になり、はじまりの日、江戸時代、舞台を彩る道中行列とゲストトークで道中を振り返ります。

加藤純氏(俳優)による街道

メトロポリタン・シンポジウム

江戸から現代までの歴史を踏まえて、都市の未来を模り、江戸開府400年記念事業全体を総括する、シンポジウムを開催します。

とき 12月6日(土)午後1時15分～午後5時

場所 丸ビルホール(丸の内2～4-1丸の内ビルディング7階)

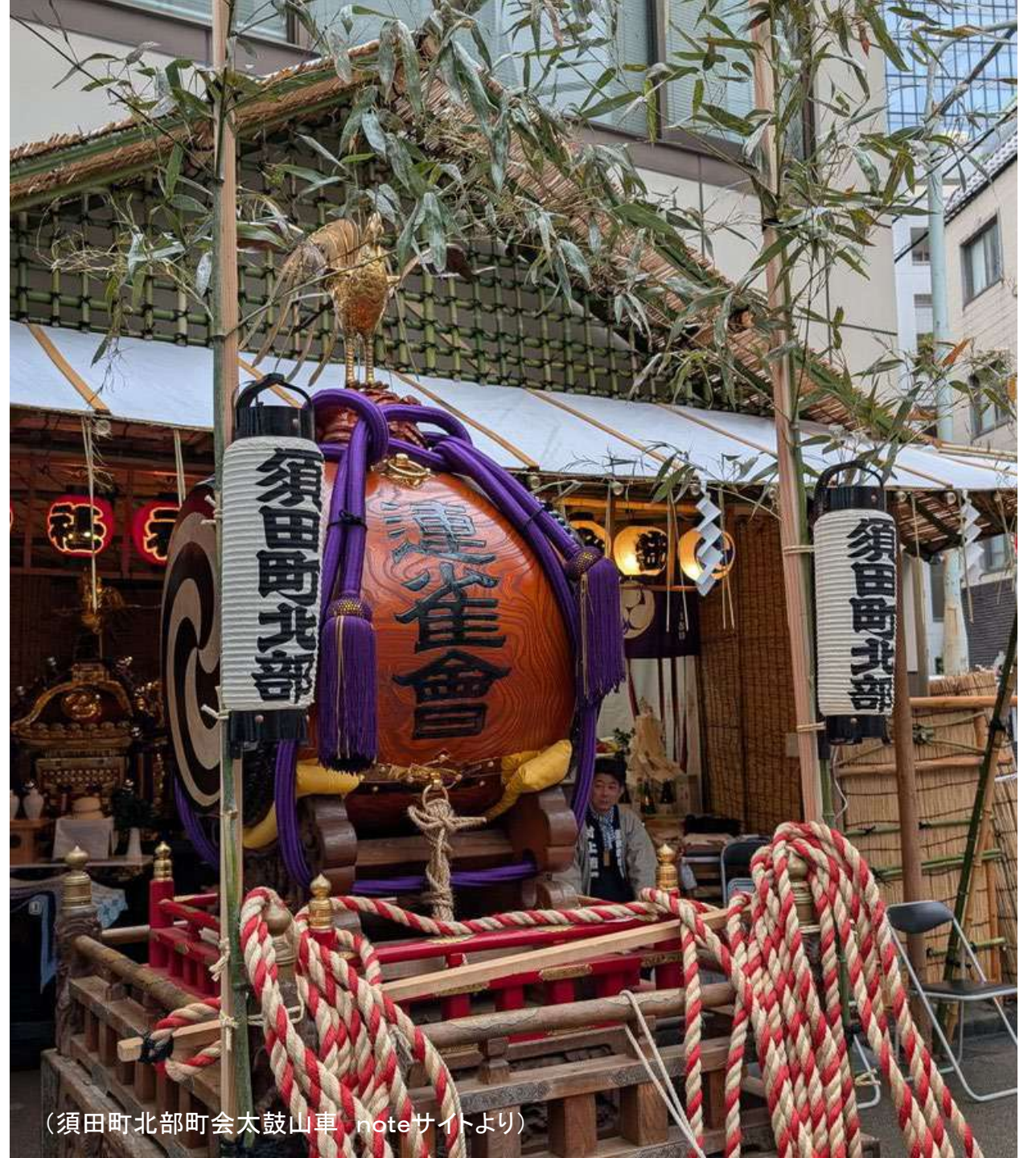
基調講演 「メトロポリスの目指す道」 飯沼秀人氏(建築家・都市デザイナー)

パネルディスカッション① 「都市の多面とこれから」

パネルディスカッション② 「都市文化の創造に向けて」

※シンポジウムの内容や申込みなど、詳しくは広報千代田11月5日号のコミュニティひろばでお知らせします。





(須田町北部町会太鼓山車 noteサイトより)

2 「祭礼文化の継承調査」

(2) 文化財としての千代田区に存在する山車人形

区指定有形民俗文化財

日比谷図書文化館：飛騨匠（1997）太鼓打人形（2007）

神田神社：熊坂長範(1988)

未指定

神田神社：神武天皇（明治17年：最後山車人形師古川長延）

日枝神社宝物殿：土佐坊、神功皇后・武内宿禰(江戸期)



山王・神田祭に由来する人形が震災・戦災を免れ

故郷の千代田区に伝来する奇跡

川越江戸～明治期・栃木市明治初期～中頃・石岡市明治～昭和初期・越谷市昭和初期

町のアイデンティティとしての祭礼道具

（江戸～明治）山車人形から（大正～現代）町神輿へ

→モノがつなぐ地域の絆→祭礼

文化継承のための各町会所有の祭礼道具調査（第一步：アンケート調査）

（３）千代田区における江戸東京祭礼に関する研究状況

祭礼文化の継承3つの柱

- ①運営する地域（町会）
- ②行政の協力（区・警察など）
- ③調査、研究

歴史的**位置づけ**と**現状の把握**

有形・無形文化財の選定と解説
山車神輿の保存等の方向性の提示
啓蒙活動の指針の作成など

祭礼文化継承の一環 としての③**調査研究**



武家屋敷門（重要文化財）での山車の特別展示（令和6年）
歴史的建造物と伝統文化の象徴山車の融合（赤坂氷川山車保存会HP）

地域の絆となる文化財

課題：研究者の育成（研究者の高齢化と若手の減少）

3 継承の課題【①運営する地域】

(1) 祭礼文化による町のコミュニティ結束力強化の課題

次世代への継承

子どもの参加、啓発を通じた裾野の拡大

- ・ 主体的参加をうながす工夫（茨城県石岡市の例）
- ・ 学校現場等での教育普及（町の文化としての理解）etc.

* 父兄の参加→子どもをとおして大人の絆の再構築する可能性

意識の醸成

町の誇りとしての祭礼文化→「人」の育成

- ・ 氏子地域以外の多様な人の参加
- ・ 祭礼の運営に関する段取りの可視化
（住民意識の多様化など）

結束力強化の絆＝神輿・山車など

モノが居住地域を越えて精神的なつながりを生み出す



継承の課題【②行政の協力】

祭礼事業を継承するために何が必要なのか

祭礼事業への補助
教育普及
連携体制の確立

千代田区＋出張所＋町会
＋公益財団法人まちみらい千代田

行政への提言

地域が祭礼文化を継続

するための支援事業の模索

エビデンス確立のために

町会へのインタビュー調査（更新が必要）
祭礼道具一覧の作成 など



明治17年神田祭
（スウェーデン世界民族博物館所蔵）

区民との対話と支援調査の継続